

ふく・わた この1年

2022年度事業報告

令和4年度福島県地域創生総合支援事業
(サポート事業)を中心に

一般社団法人

ふくしまオーガニックコットンプロジェクト



ご挨拶

法人立ち上げを志した時期から丸2年という時間が経過しました。

この間にも、国内外ではロシアによるウクライナ侵攻をはじめとする様々な変化が生起しました。それは法人の周辺でも同じでした。法人立ち上げ時期に思い描いていた絵図とは違った世界に歩み出し、変化を掻い潜らざるを得なくなりました。しかし、変化を掻い潜るなかで漸くこの法人がどこに向かおうとしているのかが見え始めてきたように思います。

「福島復興！」を合言葉に多くの人々の支援を頂きながらプロジェクトを進めていた時期は既に遠くなりました。withコロナからafterコロナと言われる時期に入り、私たちは今、大きなビジョンを胸に足元を踏み固めつつを進んでいこうとしています。次のGO！サインを見逃すことがないように、スタートダッシュのタイミングを逃さないように…。

2022年度1年間かけて進めてきた歩みのご報告です。ご意見、ご感想等お聞かせ頂けたら嬉しいです。

2023年6月

一般社団法人 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

代表理事 吉田恵美子



ふくしまオーガニックコットンプロジェクトとは…

- 東日本大震災後の福島県浜通りで、2012年から在来種に近い茶色い綿花を、農薬や化学肥料を全く使わない有機農法で栽培しています。地域の農家だけではなく、首都圏をはじめとする地域外から足を運んで下さる方々や、企業や団体、地域で育つ子供たち、原発避難によりいわきで暮らすようになった方々、避難元の町村に帰還された方々など、様々な立場の方々と交流を重ねながら栽培を続けています。
- 更に、収穫された綿花は、プロジェクトの仲間の組織により国内の工場で加工され、製品化が進められています。また、地域内での女性たちの手による手仕事創出という流れも生まれています。
- 震災後の動きの中でのつながりや気づきが、このプロジェクトを支える基盤となっています。



ふく・わたとは…

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの中では、コットン栽培やものづくりを支える組織や個人が相互に協力し合いながら活動をしています。

私たちは、そうした組織や個人こそがプロジェクト経営の主体になるべきだと考えました。

そうした組織や個人の集合体として、2021年4月に新たな組織を生み出しました。

それが、「一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」通称「ふく・わた」なのです。

《ふく・わたが目指しているのは…》

有機農法による綿花栽培とその収穫物によるものづくりを中心に、その取り組みに関連して生まれるさまざまな活動や人々の交流を通して、真に豊かな暮らし、地域、未来を紡ぎ出して次世代につなぐことです。

(定款記載事項)

《ふく・わたが行う事業は…》

- A. 有機農法による在来種の茶綿を主とする綿花栽培に関する事業
- B. 綿花栽培を仲立ちとする地域内外の人的交流促進の事業
- C. 収穫された綿花を活用して行う産業創出事業
- D. 有機農法の実践並びにそれに関する研修事業
- E. 環境配慮型のライフスタイルの提言並びにそれに関する事業

この1年のできごと

月	事業内容
4月	令和4年度福島県地域創生総合支援事業採択・事業開始 令和4年度いわき市明日をひらく人づくり基金助成事業採択・事業開始
5月	市内小中学校8校でのコットン栽培開始(市助成事業)
6月	オーガニックコットンプロジェクト2021年度報告会(ザ・ピープルとの共催)
7月	綾瀬あかしあ園とのオンライン交流 伊藤農園・みんなの畑カジロでのバイオトイレ設置イベント 千葉大学付属特別支援学校受け入れ 茨城県石岡市やさと農場視察 NPO法人のためのファンドレイジング講座開催 コミュニティ福島SDGs研修受け入れ



月	事業内容
8月	小名浜海星高校生徒への糸紡ぎ体験指導 オンラインツアー開催 東洋大学・名古屋学院大学受け入れ
9月	オーガニックふくしまマルシェ・福島民報SDGs博出展 オーガニックライフスタイルEXPO視察
10月	リボンツアー受け入れ イオンファイナンシャルグループ受け入れ 新宿区福島復興応援マルシェ出展
11月	グリーンチャレンジデイ出展 全国コットンサミット出展 リアルモニターツアー実施 SDGsローカルイベント開催(NPO法人向け・学童向け)



月	事業内容
12月	オンラインツアー追加開催 エコプロダクツ2022出展(ザ・ピープルとの共同出展) 楽天サステナビリティ部受け入れ
1月	市内小中学校でのコットン栽培について収穫物でのものづくり教室完了 綾瀬あかしあ園訪問交流 小名浜海星高校*東日本国際大学 糸紡ぎ交流
2月	サステナブルマーケット出店 オイラ大地イベント出展 立正大学・聖心女子大学オンライン出講
3月	栽培振り返りの会 桜橋花祭り出展



2022年度の収穫量

- プロジェクトとしての栽培で得られた収量
649.8kg

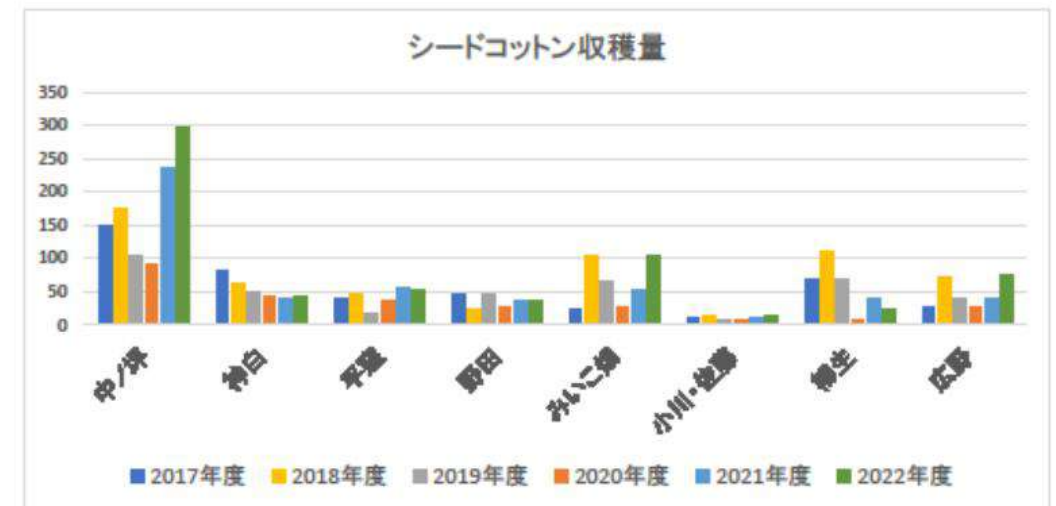
- 株式会社起点の自社農園での収量
645kg

合計 1,294.8kg

※ 前圃場の収穫物についてベクレルチェックの結果として
ND(検出限界値以下)

シードコットン収穫量

圃場名	収量(kg)					
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中ノ坪	148.56	175.9	105.73	91.17	234.87	299.04
神白	82.22	63.5	49.99	44.19	41.17	44.3
平窪	39.34	47.93	17.3	37.09	55.97	53.96
野田	46.14	23.62	45.48	26.86	35.82	36.7
みいこ畑	24.34	105.66	64.72	26.37	53.92	104.08
小川・佐藤	11.18	13	6.53	7.77	10	12.82
柳生	69.38	109.9	68.66	6.73	40.61	22.3
広野	28.2	73.56	40.57	28.23	41.25	76.69
富岡	-	11.32	3.47	3.79		
合計	449.36	624.39	402.45	272.2	513.61	649.89



福島県地域創生総合支援事業 オンラインツアーの概要

ONLINE TOUR ～2022 summer～

2022.8.20 sat 13:00-15:00

ふくわた
http://www.fukushima.organic/



福島のオーガニックコットン畑では、暑さの中可憐な花が顔を覗かせています。

2年目のオンラインツアーでは、プロジェクトとコットン畑の今を感じて頂くと共に、プロジェクトから生まれたコットン製品のストーリーも改めてご紹介。そして、地域の魅力や素敵な人との出会いもお届けします。

今回のオンラインツアーの後の楽しみは、11月に計画されているリアルモニターツアー。「初めまして!」の方でも、このオンラインツアーに参加頂けたら、11月のツアーを何倍も楽しんで頂けること間違いなしです。是非一緒にお楽しみください。



一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクトによる
2年目のオンラインツアー夏編開催決定!!



【日程】2022年8月20日(土)13:00～15:00
*開始15分前から入室可能です

【定員】50名

【参加費】2,000円(ツアー参加費、お土産代)

【お土産】ちょっとした地域のおやつ&旅のしおり
*ツアーの中で、一緒におやつを食べよう!と企画しています。

【参加方法】「Zoom」オンライン会議ツール
*開催2日前までに参加URLをメールでお送りいたします。

【プログラム】オンラインツアー2022夏編

- ◆ふく・わた動向 2022夏
 - ◆コットン栽培地中継
 - ◆いわき散歩 湯本編
 - ◆コットン製品ストーリー
 - ◆ゲスト対談 里見喜生氏
 - ◆懇親会
- *プログラム内容は、天候等によって変更になる場合がございます。

【申込方法】以下URL先のオンラインショップから
ツアーチケットをお申し込みください。



<https://fukuwata.official.ec/>
定員に達し次第、申し込み終了とさせていただきます。



ゲスト対談
里見喜生氏
いわき市で生まれ育つ。大学進学を機に上京するが、平成8年にいわき市にUターン。家業である旅館業を継ぐ。東日本大震災の際には、旅館を救済物資の配布拠点として、全国から訪れたボランティアに客室を提供した。さらに、原発事故やその後の福島の生き方を社会に伝える「ドスタディツアー」や「原子力英考証館」の創設を行い、自らも語り部として活動している。



参加にあたっての注意事項

- ・オンラインツアーは、オンライン会議ツール(Zoom)を利用して開催いたします。Zoomの利用は無料ですが、事前にダウンロードをいただく必要があります。
 - ・スマートフォンでの参加も可能ですが、よりよくご覧いただくため、なるべく大きい画面の端末での参加をおすすめします。
 - ・安定したWi-Fi環境のある場所での参加をお願いします。
 - ・入退室は自由となりますが、お客様のご都合で参加時間が短くなった場合の返金等はありません。
- *Zoomを使ったことがない、やり方がわからないという方は事前にサポート致しますので気軽にご連絡ください。

【ツアーに関するお問い合わせ】

主催：一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
✉ info@fukushima.organic

- 常磐湯本温泉に位置する古滝屋の会議室を配信拠点として、開催しました。法人並びに関係団体の関係者にチラシを送付すると共に、ホームページおよびフェイスブックページで広報を実施。募集への反応が当初薄く参加者数を確保できるか案じられましたが、50名で設定していたところ、申込数は38名。実際に35名のオンライン参加があり、配信拠点でつながったスタッフ数を加えると50名となり、当初の目標を達成することが出来ました。
- 実施内容については、地域（湯本温泉）の魅力紹介やお土産として送った地域産品（湯本町チアフルカフェのドライフルーツ）を皆で食するおやつタイム、栽培圃場からの中継、コットン製品の紹介コーナー、対談などを交えて盛沢山な内容としました。
- 実施内容の中では、特に対談が好評で司会役を務めた本法人代表理事と古滝屋当主 里見喜生氏との間で交わされた話に関心を示した参加者が多くいました。また、11月にリアルのモニターツアーの開催を計画していることを告知すると、「子供を連れて参加することはできるのですか?」といった質問が寄せられるなど前向きな反応が得られました。



リアルモニターツアーの概要

この事業は、令和4年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金の支援を受けて実施されます。

ファッションの 30名 サーキュラーエコノミーを 考えるモニターツアー

福島県浜通りエリアにおいて、仲間たちと共に有機農法でコットンを育てる取組を進める、

（一社）ふくしまオーガニックコットンプロジェクトでは、

コットン製品のライフサイクル（綿の栽培から古着のリサイクルまで）と実体験を理解するとともに、
循環型社会の実現に欠かせないサーキュラー・エコノミーについて考えるモニターツアーを実施します。

東京 →  → いわき

2022年 11月19日(土)～20日(日) 1泊2日

集 合：東京駅丸の内南口 19日7時15分（出発7時30分）

解 散：東京駅周辺 20日19時30分頃予定

移動手段：貸し切り大型バス 有限会社リボーン・エコウーリズム・ネットワーク

※廃食油由来の燃料で走る「てんぷらバス」使用
URL: <http://reborn-japan.com>

宿 泊：常盤湯水温泉 古湯屋

〒972-8321 福島県いわき市常盤湯本町三画 208 TEL 0246-43-219

参加費：高校生以上 20,000円

・東京駅～いわき往復の交通費・宿泊料・農業体験コーディネート料・保険料
・使用感確認用のふくしまオーガニックコットンプロジェクトのフェイスタオル・食費の一部を含みます

小中学生 10,000円

・大人と同じ食事での対応・フェイスタオルは食まれません
・未就学児の参加は、ご相談ください

申込方法：下記のオンラインショップからツアーチケットをお申込み下さい。

<https://fukuwata.official.ec/>

・定員に達し次第、受付終了とさせていただきます



主催

ふくわた

一般社団法人 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
URL: <https://fukushima.organic>



モニターの方には、オーガニックコットンのフェイスタオルの使い心地や、
スタディツアーの企画内容についてご意見やアイデアをお聞かせ頂きます。

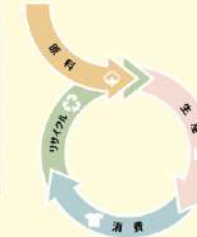
11月19日(土)

7:30	東京駅発 ※友部 SA で休憩
10:30	古着倉庫着（いわき市小名浜諏訪町） ★古着リサイクル倉庫視察と仕分け作業を体験
12:10 - 13:00	昼食（小名浜美食ホテルにて 駅弁弁当） ★食事後、東日本大震災展の自由見学
13:10 - 15:50	★みんなで洗濯タグを見ながら古着の素材調査にチャレンジ
16:00	作業完了・古湯屋へ移動
18:00	夕食 湯本まちなか MAP を片手に自由に食事をしよう
19:30	★ふく・わたメンバー × CSR48 メンバーによる深～い意見交換会
21:00	就寝

リニアエコノミー



サーキュラーエコノミー



11月20日(日)

7:30	朝食
8:30 - 9:30	★古湯屋館内 原子力災害考証館 FURUSATO 視察&館長 里見喜生氏による講話
10:00 - 12:00	いわき市連野町 みいこ畑へ移動 ★コットン収穫作業を体験
12:00 - 13:00	昼食 永山さんのお飯舞屋ご飯
13:00 - 14:00	★コットン収穫作業を体験
14:00 - 15:00	★コットン&無農薬野菜ミニマルシェ&ワークショップ オーガニックコットン製品・古着リメイク品・無農薬野菜など関連団体によるミニマルシェ。 糸紡ぎやコットンペーパー（種付きコットンのお人形）作りのワークショップなどを開催
15:00	終了・古湯屋へ移動・入浴または、まちなか散策
16:00	古湯屋発
19:30	東京駅着

【参加注意事項】

当日ご自宅を出る前に体調をチェックし、発熱などの症状がないことを確認の上ご参加ください。
乗車前にスタッフによる検温と手指消毒を行います。バス乗車中はマスクを着用するなどスタッフの指示に従って頂きます。

旅行企画・実施：株式会社福福倶楽部
委託販売・運営：有限会社リボーン・エコウーリズム・ネットワーク
URL: <http://reborn-japan.com>

お問い合わせ：一般社団法人 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
E-mail: info@fukushima.organic

1日目

- 参加者は21名。正会員団体である特定非営利活動法人ザ・ピープルの活動現場である、古着リサイクル倉庫において、午前中は古着の仕分けを体験。午後は古着の組成分析を市民の手で行うという活動を行いました。到着時間が遅れたことから、午前中はファッション業界が与えている環境負荷に関する概論の説明と仕分け作業の大まかな手順の説明で終わってしまい、午後の作業を仕分けと組成分析の同時並行とすることにしました。午後の組成分析を通して、生産国が現状の経済状況とは異なり中国が極端に多くなっていることなど、気づきが多いとの声が上がっていました。
- 昼食は、小名浜美食ホテルの駅弁を食することにし、会場の1階部分にザ・ピープルの古着チャリティショップを新規開店させたことからその店舗の紹介も含めて会場を訪問しました。
- 宿泊先の古滝屋では、株式会社起点からフェイスタオルの商品説明とアンケートの趣旨が説明され、使用感の感想を求めるアンケートを行いたいとの趣旨が説明されました。
- 夕食は自由食都市、湯本の町を自由に散策してもらう時間を取りました。その後、ふく・わたメンバーとCSR48メンバーによる深～い意見交換会を企画。ツアー参加者の多くが、集まり、ふく・わたとして今後どのような主体との協働が可能であるかといった議論を重ねました。

2日目

- 朝食後、古滝屋館内にある原子力災害考証館FURUSATO視察&鈴木亮氏講話を頂きました。途中鈴木氏自身が涙ぐむ場面もあり、館に対する思いの強さが伺われました。
- 午前中は、遠野町にあるみいこ畑での農作業。圃場管理者の永山氏の方針でコットンボールを事前に刈り取りビニルハウスで開かせるという手法を採用していますが、果たしてその手法が正しいのか、プロジェクトに通い続けている参加者からは疑問の声が上がっていました。しかし、初めてコットンの圃場に足を運んだメンバーにとっては収穫体験自体が興味深いものであったようで、楽しんでいる様子が垣間見えました。
- 永山氏の奥様の手作り昼食を堪能した後は、ツアーに対する意見交換とプロジェクト関連の農産品やコットン製品のマルシェを行い、参加者に喜ばれました。



追加のオンラインツアーの概要

本事業の中でこれまで外部委託する形で実施してきた、オンラインツアーの今後の実施について自立化を進めるため、配信業務の一部のみを依頼して実施できないかを検討するため、たまたま本事業に高い関心を寄せていた企業の労働組合向けのツアーとして試行することとしました。

参加者を募ることとなる企業労働組合との打ち合わせをはじめ、シナリオの作成等全てスタッフの手で行い、経費を削減した形でもオンラインツアーの実施が可能であるかを検証するところに力点を置いて実施しました。

講師役のさとやまの会の吉田氏と名木氏は、これまでも度々こうしたリースづくりの会を開催しているとのことで、作業中の時間に会話が途切れないよう工夫してくれていたおかげで、ツアー全体の中だるみは全くありませんでした。

また、中継を行った福島裕氏の管理する天空の里山では、それまで雨模様であったが、中継時点では青空も覗き、好条件で行うことが出来ました。また、参加者のコットンプロジェクト全体への関心も高まり、実際にコットン畑に来たいとの声も上がっていました。参加者数25名。



いわき市明日をひらく人づくり基金助成事業 コットン栽培を通して学ぼうSDGsプロジェクト

震災後進められている「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」の環境に配慮しみんなで行うコットン栽培や国内の工場でのものづくりといった取り組みを知ること、地域に育つ子供たちが自分たちの生活に身近なSDGsに関連した学びを得るきっかけを生み出すことが出来るものと考え、この事業を企画しました。市内の8校から栽培の希望があり、総勢392名の児童生徒と共に、コットン栽培を1年かけて行いました。

苗の定植から始まり、その時々に合わせて栽培の指導を行うと共に、収穫時期には実際に収穫されたコットンを使用して人形作りや糸紡ぎの体験なども行いました。

併せてSDGsカードゲームの体験会なども開催し、学びを深めました。



次年度に向けて 新しい道筋づくりへのチャレンジ



農業体験やSDG s 関連研修の受け入れに向けたメニュー整備を進めました。

オーガニックコットンを活用する方法を探して、新たなコラボレーションにもチャレンジしました。福島産有機茶綿100%の中綿で作った布団やいわきの伝統産業である遠野和紙の手漉き時にコットンの樹皮を漉き込んだものなどが生まれました。

更に前に進むために さらなるご支援を頂けたら嬉しいです

ふくわた

- ◆ 名称:一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
- ◆ 目的:有機農法による綿花栽培とその収穫物によるものづくりを中心に、その取り組みに関連して生まれるさまざまな活動や人々の交流を通して、真に豊かな暮らし、地域、未来を紡ぎ出して次世代につなぐための事業を目指します。(定款より)
- ◆ 略称:ふく・わた
- ◆ 設立日:2021年4月19日
- ◆ 所在地:福島県いわき市泉町三丁目14番地の1
- ◆ 役員:代表理事 吉田恵美子
理事 堀口亜季 鈴木純子 福島 裕
監事 吉田 充
- ◆ E-MAIL:info@fukushima.organic
- ◆ URL:https://fukushima.organic

応援会員募集中！！
個人会員 1口3,000円以上
法人会員 1口10,000円以上

※ 詳細はメールにてお問合せ下さい！

収支決算書

令和4年 4月 19日 から令和5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	140,000	180,000	40,000
活動会員会費収入	25,000	15,000	△ 10,000
応援会員会費収入	300,000	178,000	△ 122,000
会費収入計	465,000	373,000	△ 92,000
②事業収入			0
事業収入	1,250,000	1,528,820	278,820
③補助金等収入			0
地方公共団体助成金収入（受け取り済み額）	2,000,000	1,739,000	
地方公共団体助成金収入（未収額）		527,000	527,000
④借入金		1,108,121	1,108,121
⑤寄附金		20,000	20,000
⑥受取利息		4	4
⑦雑収入		3,580	3,580
事業活動収入計	1,715,000	3,560,525	1,845,525
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
仕入高	947,000	156,844	△ 790,156
旅費交通費支出	267,000	446,430	179,430
通信運搬費支出	146,000	192,321	46,321
消耗品費支出	647,000	482,512	△ 164,488
印刷製本費支出	90,000	236,700	146,700
賃借料支出	489,000	543,077	54,077
諸謝金支出	800,000	1,179,264	379,264
租税公課支出	70,000	76,900	6,900
委託費支出	249,000	234,410	△ 14,590
備品購入費		575,652	575,652
返済金		500,000	500,000
雑支出	10,000	139,248	129,248
事業費支出計	3,715,000	4,763,358	1,048,358
事業活動支出計	3,715,000	4,763,358	1,048,358
事業活動収支差額	0	△ 1,202,833	△ 1,202,833
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入			
短期借入金収入		500,000	500,000
長期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出			
長期借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出		0	0
当期収支差額	0	0	161,436
前期繰越収支差額	161,436	0	0
次期繰越収支差額	161,436	0	161,436